

令和4年1月11日

### 3学期 始業式 式辞

あけましておめでとうございます。長い冬休みが終わりました。

年明けの学校では、部活動に取り組んでいる 生徒の皆さんを見ました。

とても、頼もしく思いました。

また、欠点を持っている人は、課題の提出など、欠点解消に向けた取り組みは順調に進んでいますか。しっかりと頑張ってください。

これまで、交通事故など、大きな事故やけがの報告はありませんでしたので、一安心しています。

先週の木曜日、1月6日に雪が降りましたが、皆さんの住んでいるところでは、雪はつもりましたか。

川越市周辺では、翌日には、ほぼ雪は消えていましたが、路面は凍結していました。

雪の予報が出た場合は、前日の夜には、次の日のために、どんな注意をしておく必要

があるかを考えてください。

たとえば、翌日の電車の遅れが心配されるので、いつもより早く家を出る準備をする。自転車通学の方は、自転車を使わない経路を事前に検討しておく。靴に付ける滑り止めを準備するなどです。

雪の日に、実際に本校生徒の自転車が、目の前で転倒した人をよけ切れずに接触しそうな事故がありました。

当該生徒は、冷静に、保護者と学校に連絡を入れてくれたので、先生からの的確な指示をすることができました。そして、周りの方の援助もあり、大事には至ることはありませんでした。

繰り返しになりますが、雪が積もる予報が出た時には、電車の遅れが心配されるので、いつもより早く家を出る。

自転車で通学している場合は、自転車を使わない経路を事前に検討しておく。靴に付ける滑り止めを準備する。

など、こういう機会に考えてほしいと思います。

これを 危機管理 と言います。

次に、4か月前の話になりますが、2学期の始業式で、3つお願いしたことを覚えていますか？

1つ目は、感染防止の意識をしっかりと持って行動しよう！

2つ目は、あいさつをしっかりとしよう！

3つ目は、清掃をしっかりとしよう！ でした。

どのこともしっかりと行動してくれて、気持ちよく2学期を過ごすことができました。

また、川越の街の中でも大きな声であいさつをしてくれます。ありがとう。

新年の始まりに当たり、今年も継続してくれるようお願いをします。

さて、終業式に、「1年の計は元旦にあり」と話しましたが、目標や計画を立ててみましたか？

私は、校長として、更に、生徒のみなさんが、Society5.0 と呼ばれるスマート社会で活躍できるための学校づくりや 中学生が来たくくなるような川越工業高等学校にするにはどうしたらよいかなどを 考えてみました。

例えば、グローバル化に対応できる学校や ICT を積極的に活用して、STEAM 教育を実践する学校 にするにはどうしたらよいかなどです。

例えば、みなさんの中には、グローバル化と聞いて、「私は英語が苦手だから海外で働くなど考えてもいません。」という人がいるかもしれません。

しかし、グローバル化が進む現代では、こちらから行かなくても、海外から人がやってきます。その時には、外国語を知っていること。外国語を勉強したことが必ず役に立ちます。

池上彰さんの著書「なんのために学ぶのか」を昨年の図書委員会の冊子で紹介しましたが、その中にも、「何のために学ぶのかは、その時になるとわかるのです。」と書かれています。

確かに、私も、高校生の時にもっと勉強しておけばよかったと思うことが、今でも、よくあります。

だから、苦手などとは思わないで、少しでも、努力しておくことが大事です。

英語と言えば、英検準2級に合格した人が、複数人いましたね。すばらしいです。

これからも努力を継続してください。

ところで、「1年の計は元旦にあり」には、続きがあって、

「1月の計は朔日（ついたち）にあり」、

「1日の計は鶏鳴（けいめい（朝））にあり」と続いています。

1日の朝に、今日はこれをやるぞ！など、今日のテーマを決め、計画的に行動できる

よくなると、毎日が充実したものになるのではないのでしょうか。また、日記を書くのも1日を振り返り、次の日の計画を考える際に役立つかも知れません。

今年は、毎日、朝に目標を決め、1日をスタートする年にしてはどうでしょうか。

ところで、収束しそうだった新型コロナウイルスも、新しいオミクロン株となって拡大し、若い人たちにも感染が広がっています。

引き続き マスクの着用や手洗い 食事中的会話をしないなどを徹底して、  
今年は、いい一年だったと振り返れる年になるように、頑張りましょう。